

「大接近中の木星と土星 (2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

約 400 年ぶりの「木星と土星の歴史的な大接近」がいよいよ明日に迫った。



前日にあたる 12 月 20 日にも写真を撮ってみた。幸い日没後は快晴で、木星は 17 時過ぎに見え始めてきた。土星とはかなり近い。眼鏡をつけても、私の眼ではかろうじて 2 個の星---というよりも「雪だるま」のように見えた。

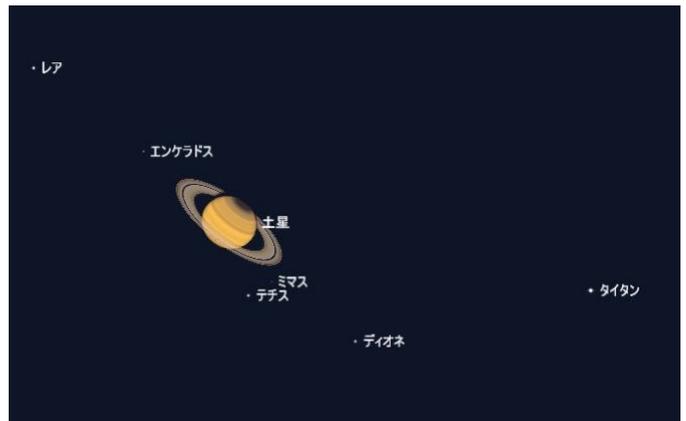


これは 20 日に望遠レンズ (換算 900mm) で撮影した木星と土星だ。木星と土星が「大接近している」といっても、惑星の実サイズでは、これだけ離れている。

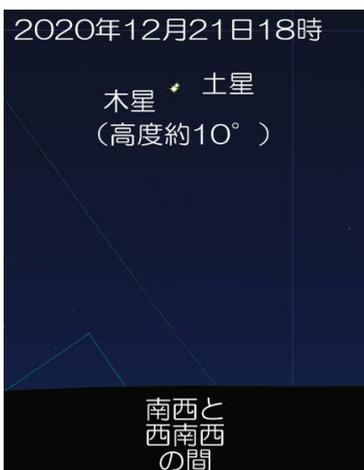
この日は木星の 4 大衛星が、すべて木星の東側 (左上側) に集まっている。いろいろと露出を調整した結果、「土星の環」も辛うじて写すことができた。



明日の最接近の時は、土星は木星の右上に見える。木星の衛星も「席替え」して、「イオ」と「エウロパ」は右下に移動する。こんな写真が撮れるだろう。



実は土星にもたくさんの衛星があり、土星にターゲットを絞れば、撮影も可能だ。しかし、木星の衛星が 5 等級台なのに対し、太陽から遠い土星の場合、一番明るい「タイタン」でも 8 等級台で、左の写真のような拡大率では、写真には写らないのだ。



12 月 21 日は「惑星の地平高度」「空の明るさ (薄明)」などを考えると、およそ 17:30 頃から 18:00 過ぎまでが、一番観察しやすいだろう。スマホでも撮影可能なので、是非撮影してメールで送ってほしいと思っている。